

紙人形を飾る七夕

「笹の葉さらさら 軒端^{のきば}

にゆれる・・・」という唱

歌と共に、彦星^{ひこぼし}・織姫^{おりひめ}の物

語を聞き、短冊に願いを書

いた記憶は、それなりの年

齢の人には、かすかなりと

残っているのではないでし

ようか。かつては、子供の

いるどこの家庭でも行っ

ていた七夕^{たなばた}の行事です。普通

は笹竹に願い事を書いた短

冊を取り付け、色紙などを

切って飾り、庭先に立てる

のですが、北浜町から曽根

町にかけては少々珍しい風

があります。二本の笹竹に

数段細竹を渡し、それに袖

を通して紙人形を提灯と共に

飾るのです。

月おくれの8月6日に町

内を歩くと、意外にたくさん

この七夕飾りを目にする

ことができます。ある家で

は、三段の upper 段に子供の名

前と家紋を入れた提灯^{ちよんどん}を吊

り、中・下段には一〇体ば

かりの紙人形を飾っていま

した。紙人形は包装紙など

を切って家々で作っていた

のですが、今は買ってくる

といえます。提灯はひょう

たん形や船形の吊り提灯、

あるいはスタンド形のもの

が、初七夕の時、祖父母世

や親戚から贈られ、お礼と

してぼた餅を返したものと

聞きます。縁側の机上には、

スイカ・トウモロコシ・カ

文化財総合的把握モデル事業

ひと・まち・石

問合先

教育委員会
生涯学習課文化財係
☎448-8255

家を回り、煎豆^{いんまめ}などをもら
ったといえます。後には、
菓子や力キ氷の券などに変
り、昭和四〇年頃になって
風紀上問題があるとしてこ
の風はなくなつて、今では
初七夕の家からの寄付を得
て子供会で菓子を配ったり
しています。

七夕の行事には、盆行事
に連なる古来の風習に大陸
の牽牛^{けんぎゅう}・織女の伝説や技芸
の上達を願う乞巧奠^{きこうでん}の行事
が取り入れられ、地域によ
り様々な展開をして来まし
た。いずれにしても、当地
方の七夕は全国的にも珍し
く、今後もし子供達の心に残
る行事として大切にしたい
ものです。

(曾根天満宮 曾根文省)



紙人形の七夕飾り